



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

2021-22年度RIテーマ

奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

国際ロータリー 第2780地区

寒川ロータリークラブ



事務所: 〒253-0106 神奈川県高座郡寒川町宮山7番地 サンワビル2F

TEL 0467(73)0046 FAX0467(74)0027

例会場: 寒川神社参集殿 例会日: 毎週 月曜日 18:30

会長 井上 稔 幹事 村松 一

会報委員(クラブ管理運営委員会)

鈴木正秋 石塚雄司 秋本茂雄 下里宏規 三澤京子 三留通男

第2210回例会 2022年5月22日(日) 晴れ一時雨

創立49周年親睦家族移動例会 於: 箱根宮ノ下「富士屋ホテル」

司会 小澤副幹事

ゲスト 秋本優子様、茂内久代様、鈴木悦子様

ビジター Benさん(台北草山RC)

会長の時間

今年度初めての家族移動例会を、ここ富士屋ホテルで奥様のご参加をいただき開催できますこと、とてもうれしく思います。3名の奥様方、ありがとうございます。またこの後富士屋ホテル田島様より富士屋ホテルの歴史についてお話を伺うことになっております。さて、来週の例会は5/29(日)「第4グループロータリー奉仕デー・合同例会」となります。これは今年度RI会長シェカール・メーター氏のテーマのもと、ロータリアンと地域団体や自治体とが協力してロータリーの重点分野に一致した奉仕活動を行い、その参加者の25%はロータリアン以外で占めなければならないというものです。当日は朝9時から寒川町相模川美化キャンペーンと同時開催で「河川敷クリーンアップ清掃活動」を行い、11時からは参集殿で合同例会を開催します。皆さまのご協力をどうぞよろしく願いいたします。ちなみに、次年度RIテーマは「イマジンロータリー」です。創立50周年を迎える石腰・小澤年度に向けて、私たちが良いイメージを膨らませて実りある年度にしたいですね。「イマジン」と聞いてあの詩が思い浮かびました。

“想像してごらん 天国なんて無いんだと

ほら、簡単でしょう?

地面の下に地獄なんて無いし

僕たちの上には ただ空があるだけ

さあ想像してごらん みんなが

ただ今を生きているって...

想像してごらん 国なんて無いんだと

そんなに難しくないでしょう?

殺す理由も死ぬ理由も無く

そして宗教も無い

さあ想像してごらん みんなが

ただ平和に生きているって...

僕のことを夢想家だと言うかもしれないね

でも僕一人じゃないはず

いつかあなたもみんな仲間になって

きっと世界はひとつになるんだ

想像してごらん 何も所有しないって

あなたなら出来ると思うよ

欲張ったり飢えることも無い

人はみんな兄弟なんだって

想像してごらん みんなが

世界を分かち合うんだって...

僕のことを夢想家だと言うかもしれないね

でも僕一人じゃないはず

いつかあなたもみんな仲間になって

そして世界はきっとひとつになるんだ”

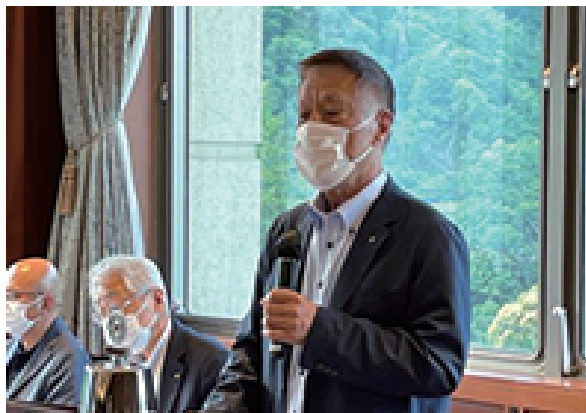
Imagine / John Lennon & Yoko Ono

(和訳 Akihiro Oba)

最近ロシアのウクライナ軍事侵攻についてニュースで見ない日はありません。こんな時だからこそ、皆さんにご紹介したいと思いました。

出席報告

会員数	出席計算会員数	出席会員数	暫定出席率	確定出席率
31名	30名	26名	86.67%	
本日欠席者	内野会員、大澤会員、清水会員、二見会員			



幹事報告

例会変更

なし

週報受理

寒河江RC

その他受理

●ガバナー事務所

～今年度決議案投票結果報告 → ホワイトボードに掲示

●寒川町

～相模川美化キャンペーン開催案内(5/29(日)9:00～)→第4グループロータリー奉仕デーとして参加

回覧

○ハイライトよねやま Vol.266

委員会報告・地区および地域出向者報告

親睦活動委員会 中野委員長

会長からもお話がありました通り、22日(日)は創立家族移動例会です。15時に町民センター横からバスが発します。16時に富士屋ホテルに到着しお庭を散策していただきます。例会は17時点鐘で、セレモニー後には富士屋ホテルの方から富士屋ホテルの歴史についてお話を伺います。その後、菊華荘に移動してお食事を約2時間お楽しみください。寒川帰着は20:30を予定しております。一応ドレスコードがありますのでご注意ください。

卓話 田島日向子様「富士屋ホテルの歴史」



旧御用邸菊華荘に移動し会席料理ディナー ※菊華荘のお話

菊華荘は明治28年皇室の御用邸として建てられました。その後、昭和9年に高松宮様の別邸となり、終戦後昭和21年7月に富士屋ホテルに御下賜いただき、その時に菊華荘と命名致しました。箱根には菊華荘が建てられる前に、箱根離宮(今の恩賜公園)という皇室の建物がありましたが、避暑を目的として建てられた建物は菊華荘が初めてです。数ある皇室の御用邸の中では、規模が一番小さい1682坪ですが、葉山の御用邸の翌年に建てられた日本で6番目の皇室の別荘です。建設当初は明治天皇の8番目の内親王様で富美宮允子(フミノミヤノブコ)様が静養に使用され、大正時代には昭和天皇がたびたび来館されたとのことです。現在は6つの食事部屋と3つの宿泊施設がありますが、建設当初から手直しをせずに建てられたままの場所は、御座所と呼ばれる一角だけです。御座所は菊華荘の中心であり柱は全て木曾檜を使用しております。また、壁も湿気を防ぐ特殊材を使用しており、菊、桐、櫻、楓、4つの部屋からできています。特に床の間のある菊の間は昭和天皇のご幼少時代の執務室(勉強部屋)として使われ、桐の間は御寝所として使われておりました。現在も四方の柱には『かや』をつた紐がそのまま残されております。またバラの間と呼ばれている部屋は天皇家の食事部屋であり、当初床は板張りで椅子、テーブルであったようです。庭園も当時皇室の庭師によって作られた回遊式庭園といい、池は上から見ると「心」という字に作られた『心字池(シンジイケ)』と呼ばれています。



